

## ① 本町の虐待問題について

虐待はここ数年増加の一途をたどっているようです。警察庁の2019年の犯罪情勢統計によると暫定値ではありますが全国の警察が把握した刑法犯では74万8623件で、5年連続で戦後最少を更新したが、児童虐待の疑いで児童相談所に通告した18歳未満の子供は9万7842人で、前年より21.9%の増加で、その内訳は言葉による脅しや無視、目の前で家族に暴力を振るうなどの「心理的虐待」が7万441人で約7割を占め、「身体的虐待」が1万8219人、「育児放棄（ネグレクト）」が8920人となっている。警察が虐待を事件として摘発した件数も1957件、前年比41.8%増で過去最高を更新したようです。配偶者などパートナーからの暴力、ドメスティックバイオレンス、(DV)相談件数は、8万2201件、摘発は9083件でともに過去最高となったようです。昨年千葉県で起きた小学4年生の事案でも心を痛めました。この事件は行政の連携不足や危機感の欠如から適切な対応が行われませんでした。本町ではどうなのかお尋ねします。さらに虐待は幼児、児童に限らず高齢者にも起きております。本町の実態と対策はどうなのかお尋ねします。

## ② 本町の教育問題について

(1) 本町は教育の町として県下でも自他共に認めるところではありますが、近年不登校の生徒数が増加しているようです。これは学力低下を招くほか、生活面による影響も多大に考えられます。不登校の理由は様々考えられるようですが、現状はどうなっているのか、今後どのように改善を図るのかお尋ねします。

## (2) 本町の施設運営について

本町にはふれあいセンターや北部多目的研修集会施設、長与公民館、上長与公民館、南交流センター、高田公民館など住民の社会教育の場所としての役割を担う町所有の施設がありますが、いまだにトイレが前時代的なスタイルのトイレが多いように見受けられます。今後どのように改善していくのかお尋ねします。